第五次東広島市総合計画

後期基本計画 概要版

2025 ⇒ 2030

未来に挑戦する
自然豊かな
国際学術研究都市

住みたい、働きたい、
学びたいまち、東広島

目指すまちの姿

1 地域イノベーションの積極的な展開

新たな価値や考え方などの創出につながるイノベーションがこの地で次々と生まれ、地域内外に展開することを目指します。

2 希望ある未来へ挑戦する新たなプロジェクトの展開

先端技術の活用が進み、自らが先進事例となるような新たなプロジェクトが次々と生まれ、地域社会に浸透することを目指します。

3 次の時代を見据えた地域共生社会の実現

住民一人ひとりの暮らしと生きがいや、地域共生社会が実現することで、市民の安全・安心とともに、暮らしの充実・向上につながることを目指します。

4 豊かな自然環境の保全と活用

豊かな自然が守られ、自然との調和や共生を意識した都市機能や住環境の整備を進め、豊かな自然を起点に魅力が創出されるまちを目指します。

5 国際色豊かなまちの形成

国籍や文化、習慣などを超えて、外国人も安心して生活し、活躍でき、市民として地域のまちづくりに参画できる環境を整え、多様性を受け入れる国際色豊かなまちを目指します。

東広島市は、大学・試験研究機
可能性に恵まれた都市として、全
がる豊かな自然、多様な人材と
す。その新たな価値が、人びとの
きたい、学びたいまち、東広島～」

未来に挑戦する
自然豊かな国際学術研究都市

～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

関等の知的資源や産業集積により急速な発展を遂げました。豊かな自然に囲まれ、成長国的にも注目されています。本市に集積の進む学術研究機能や、里山から田園、海まで広いった地域資源が相互に作用しあうことで「新たな価値」が生まれることが期待されま仕事や暮らしなど、あらゆる場面で幅広く効果的に発揮されることで、「～住みたい、働の実現を目指します。

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市

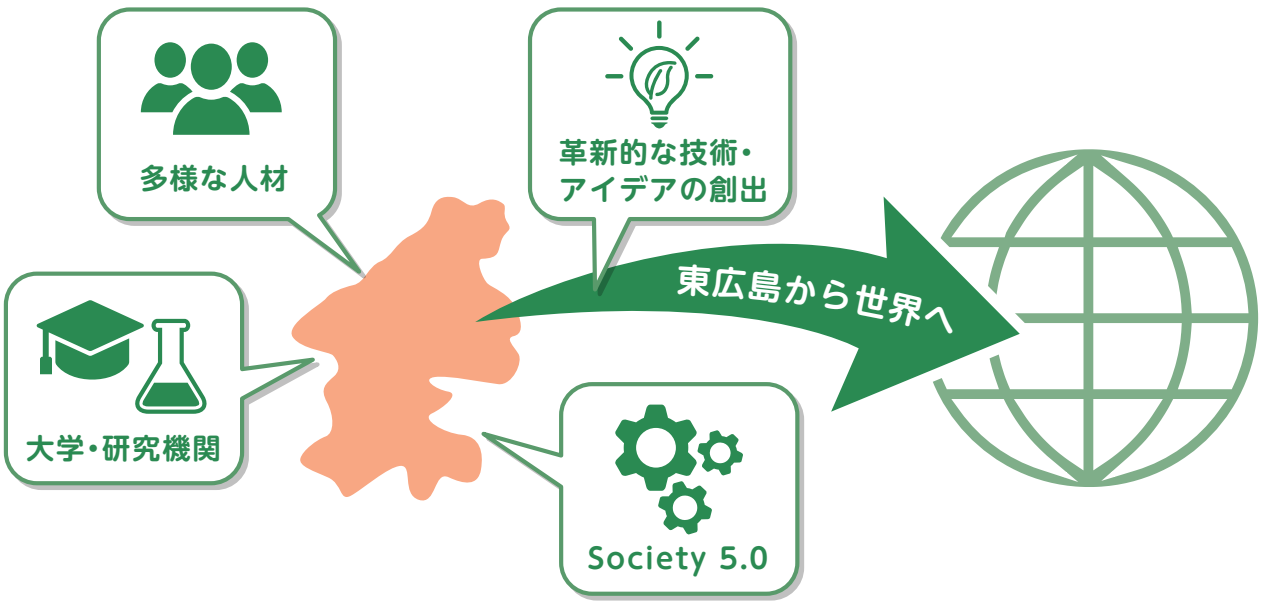
～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

これまでの東広島市におけるまちづくりの蓄積を基盤として、持続可能な社会の形成という視点を踏まえ、内外から選ばれる都市へと発展的に継承していくために、**５つのまちづくり**の構成要素につながる**２つの方向性から将来都市像**を設定します。

目指す方向性 1

世界に貢献するイノベーション創造のまち

人工知能（AI）、IoT、ビッグデータなどの技術が急速に進化し、世界に大きな変革をもたらしています。日本でも、仮想空間と現実空間を融合させ、経済成長と社会課題の解決を両立する「Society5.0」の実現が進められています。本市では、大学や研究機関、多様な人材が集まる環境を活かし、これまでにない新しいプロジェクトに挑戦します。市内各地で生まれる革新的な技術やアイデアを通じ、世界の多様な課題解決に貢献できるまちを目指します。



将来都市像や
目指すまちの実現に向けて、
５つの柱からなる
「まちづくり大綱」を設定し、
今後取り組みます

目指す方向性 2

暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち

SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる「地球上の誰一人取り残さない」目標のもと、持続可能な社会の構築が求められています。本市では、美しい自然と快適な暮らしが調和した持続可能な次世代型環境都市を目指し、高齢者や障がい者、子どもを含む全ての市民が支え合い、安心して暮らせるまちづくりに挑戦します。特に子どもたちが家庭や地域の愛情の中で健やかに成長できる環境を整えていきます。また、多くの外国人市民が文化や習慣の違いを超えて地域に溶け込み、笑顔で活躍できる社会の実現を目指します。

後期基本計画における重点テーマ

Well-beingを実感できる地域共生社会の実現

方針　地域住民や多様な主体が世代や分野を超えてつながり、「支え手」「受け手」を超えた学び合い、支え合い、感謝し合える関係を築きます。この「シアエル関係」を通じて、市民一人ひとりが身体的、精神的、社会的に満たされた「健幸」な状態（Well-being）を実感できる「地域共生社会」の実現を目指します。

背景　人口減少や超高齢化、核家族化、単身化の進行により、地域の信頼関係や人と人のつながりである「ソーシャルキャピタル」が低下し、社会的孤立や支援を求められない人々が増加しています。これらの課題を解決し、市民一人ひとりがWell-being（幸福感）を実感できる地域共生社会の実現に向けた取組みを進めます。

▼関連するまちづくり大綱

仕事づくり　暮らしづくり　人づくり
活力づくり　安心づくり

多様な主体と地域資源を活かした人口減少地域総合対策

方針　人口減少が深刻な地域において、地域特性を活かしながら、地域内での経済循環や人口の流入を促進することで、「住みたい、住み続けたい」と思える地域の活力維持を目指します。

背景　本市中心部では人口が増加する一方、周辺地域では高齢化や過疎化が進み、地域コミュニティや基礎的生活機能の維持が課題となっています。そのため、「地域特性を活かしたまちづくり」、「地域内経済循環の拡大」、「人口流出抑制・流入促進」の視点から、あらゆる分野で施策を実施し、人口減少の緩和や持続可能な地域をつくる取組みを進めます。

▼関連するまちづくり大綱

仕事づくり　暮らしづくり　人づくり
活力づくり　安心づくり

後期基本計画では基本構想に掲げた将来都市像の実現にむけ、より市民がWell-beingを感じられるまちとなるため、特に重点的に取り組むべきテーマを設定し、様々な分野を横断した連携による包括的な施策の推進によりまちづくりを進めていきます。

次世代学園都市の実現

方針　2050年を見据え、大学とのTown＆Gownの取組みを進めるとともに、産学官民の共創による新たな都市モデルを市の成長戦略に位置付けて、多様な産業分野の集積や民間投資がもたらす先端的な学術、研究により様々な課題解決が図れるフィールドを広島大学周辺で整備しながら、学園都市として更なる発展を目指します。

背景　本市は、大学や研究機関、産業の集積により発展してきましたが、Society5.0や脱炭素社会などを取り入れ、持続可能な地方都市モデルの構築が求められています。市（Town）と大学（Gown）が一体となったまちづくりを推進し、技術やアイデアを取り入れて、起業家や研究者が集まる持続可能なまちづくりを進めています。

▼関連するまちづくり大綱

仕事づくり　暮らしづくり　活力づくり

子どもの健やかな成長のための環境づくり

方針　子どもを権利の主体として認識し、子どもの視点に立って、子ども・子育て世帯への切れ目ない支援を充実させることで、全ての子どもが健やかに成長し、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会（＝「こどもまんなか社会」）の実現を目指します。

背景　核家族化や高齢化、地域住民のつながりの希薄化により、子どもや子育て世帯を取り巻く環境は変化しています。「こどもまんなか社会」を実現するため、子どもの視点で安心して産み育てられる環境づくりや、仕事と子育ての両立支援、社会的支援が必要な子どもへの対応などの取組みを進め、子どもの健やかな成長を支える環境づくりを推進します。

▼関連するまちづくり大綱

仕事づくり　暮らしづくり　人づくり　安心づくり

〈将来都市像〉

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市

～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

＜まちづくり大綱＞	＜施策＞
1 仕事づくり 知的資源と産業力で多様な仕事が生まれるまち	1 産業イノベーションの創出 2 中小企業等の活力強化 3 企業の投資促進 4 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化 5 地域資源を活かした観光の振興 6 働き方改革の推進による雇用環境の充実
2 暮らしづくり 自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち	1 暮らしを支える拠点地区の充実 2 安全で円滑な生活交通の充実 3 快適な生活環境の形成 4 豊かな自然環境の保全 5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上 6 多文化共生と国際化の推進
3 人づくり 誰もが夢を持って成長し活躍できるまち	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進 2 乳幼児期における教育・保育の充実 3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践 4 新たな価値を創造する人材の育成 5 知的資源と国際性を活かした人づくり 6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
4 活力づくり 学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出 2 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり 3 都市成長基盤の強化・充実 4 交通ネットワークの強化 5 環境に配慮した社会システムの構築 6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市
5 安心づくり 自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち	1 災害に強い地域づくりの推進 2 安全・安心な市民生活の実現 3 総合的な医療体制の確立 4 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現 5 共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現 6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
5つの柱を支える共通基盤	市民ニーズの的確な把握と質の高い行政サービスの提供 効率的で持続的な行政経営の推進

1. 仕事づくり

知的資源と産業力で多様な仕事が生まれるまち

魅力ある「仕事」の創出に取り組みます。

東広島市には4つの大学と多くの学術研究機関が集まり、イノベーション創出に欠かせない知的資源に恵まれています。また、農林水産業や酒造などの伝統産業、半導体、自動車関連の先端産業が基幹産業として市の成長を支えています。これらの特色を活かし、国内外の交流を促進し、多様な地域資源と組み合わせて魅力的な「仕事」を創出します。さらに、働き方改革を推進し、女性や高齢者をはじめとする多様な人材の就労環境を整備し、仕事と生活を両立しながら創造的な仕事に取り組み、その仕事が新たな仕事を生む好循環を目指します。

施策① 産業イノベーションの創出

企業や大学、試験研究機関等の集積を活かし、多様な人材の交流をより一層活性化することでイノベーションを促進し、企業や起業家、組織等が新たな付加価値を創出して本市の経済が成長することを目指します。

施策② 中小企業等の活力強化

中小企業等の実情を踏まえ、専門家による経営相談機能の強化や各種支援を実行することにより、地域経済を支える中小企業等の経営改善が図られることを目指します。

施策③ 企業の投資促進

魅力的な仕事と働く環境が生まれ、市民や学生等の地域に対するイメージや意識、さらには市内外からの評価が高まり、新たな企業の立地と投資が促される好循環が生まれることを目指します。

施策④ 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

農山漁村の良好な生産・生活基盤が維持されるとともに、意欲ある担い手が夢を持って営農し、農林水産業が、地域経済を支える十分な所得形成力を有した産業として確立されることを目指します。

施策⑤ 地域資源を活かした観光の振興

地域資源を活かすことで魅力的な観光地となり、観光客が増加し、観光産業も地域経済の牽引役となることを目指します。

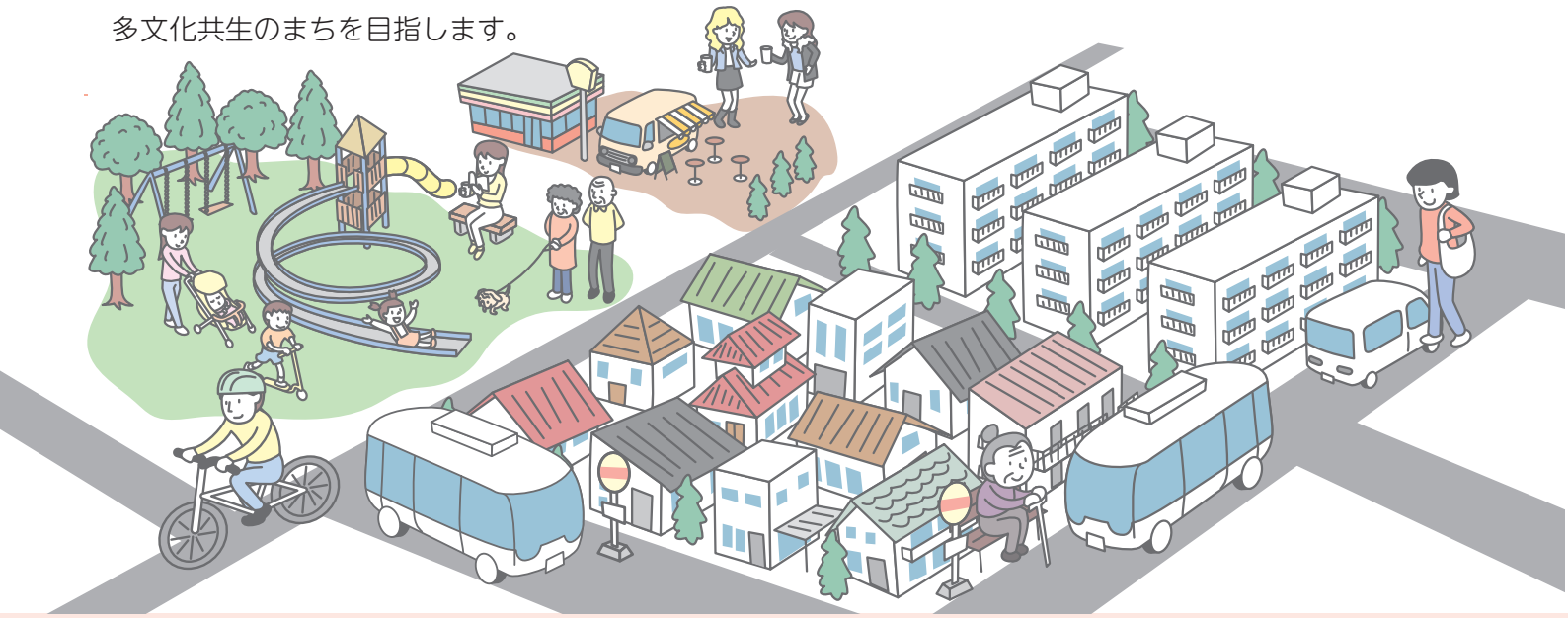
施策⑥ 働き方改革の推進による雇用環境の充実

それぞれの事情に応じた柔軟な働き方を選択できる雇用環境が形成されることで、労働者がいきいきと働き、多様な人材の活用による新たな発想のもと、多様なニーズへ対応することができる社会になることを目指します。

誰もがいきいきと活躍できる
快適な生活環境を形成します。

東広島市の豊かな自然環境と利便性の高い居住環境が共存する魅力的なまちを実現するためには、持続可能で快適な生活環境を整備し、誰もが活躍できるまちづくりが必要です。「コンパクト・プラス・ネットワーク」の視点に基づき、生活を支える拠点の形成を図り、生活交通ネットワークの充実や、生活道路網を構築します。

また、3R活動の推進や循環型社会の構築、良質な水の安定供給や水質保全に取り組みます。さらに、地域の個性を活かした市民協働を推進し、言語や文化の違いを超えて外国人を含む全ての市民が共に活躍する多文化共生のまちを目指します。



施策① 暮らしを支える拠点地区の充実

様々な機能が集積される都市拠点を中心として拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されることを目指します。

施策② 安全で円滑な生活交通の充実

安全で円滑な移動が確保された交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされることを目指します。

施策③ 快適な生活環境の形成

一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、安全な水の提供や公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整うことを目指します。

施策④ 豊かな自然環境の保全

豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されることを目指します。

施策⑤ 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍し、地域の持つ力が向上することを目指します。

施策⑥ 多文化共生と国際化の推進

言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現することを目指します。

3.人づくり

誰もが夢を持って成長し活躍できるまち

自らの個性や能力を最大限に発揮できるまちを目指します。

あらゆる分野の活力の源泉は「人」であり、全ての人が尊重され、健やかに成長し、活躍できる環境を整備していくことがまちづくりの基本です。また、広く社会で活躍できる人材の育成を図るためには、地域において、子どもから大人まで、切れ目なく、様々な学びによる成長の機会を持つことが重要です。

そのため、乳幼児期における教育・保育の充実や、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育成する学校教育の充実とともに、学術研究機関の集積等を活かした多様な学びの提供などにより、市民一人ひとりが自らの個性や能力を最大限に発揮し、生涯にわたって充実した人生を送れるまちを目指します。

施策① 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進

様々な啓発や教育機会の充実によって、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会を目指します。

施策② 乳幼児期における教育・保育の充実

子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整うことを目指します。

施策③ 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

すべての子どもたちが知・徳・体を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望を持ち、主体性と創造性を持った人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整うことを目指します。

施策④ 新たな価値を創造する人材の育成

多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されることを目指します。

施策⑤ 知的資源と国際性を活かした人づくり

大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育つことを目指します。

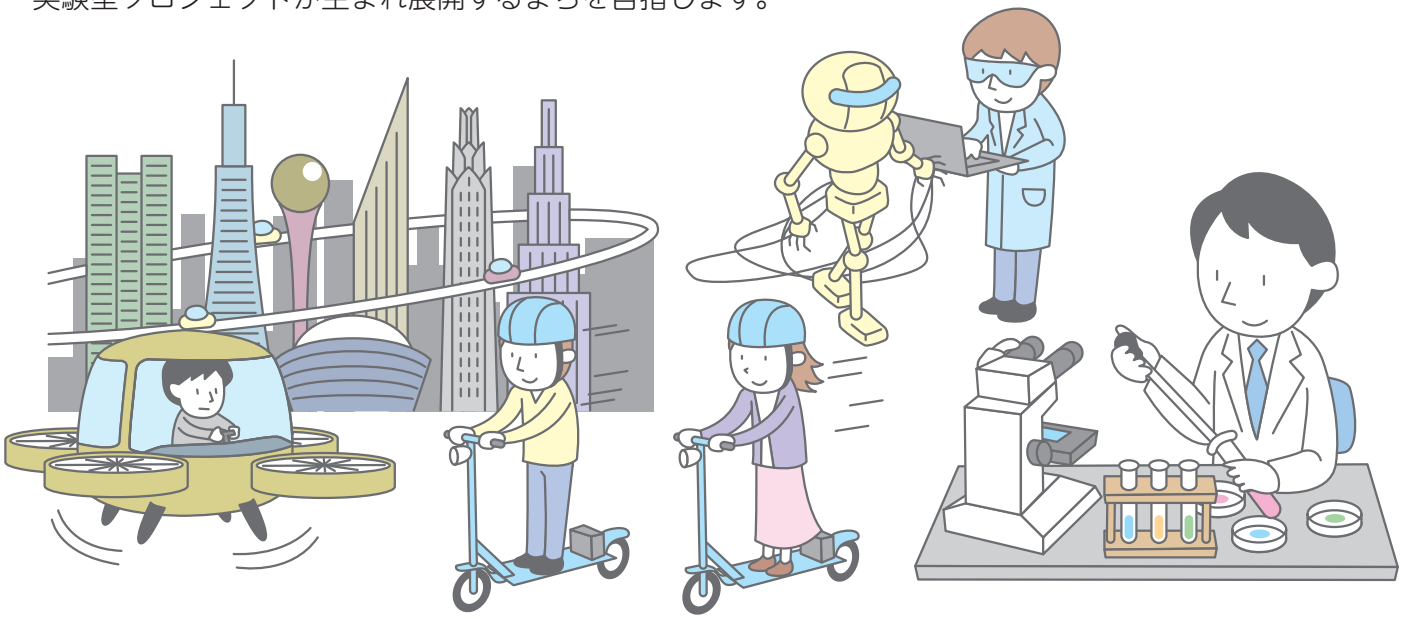
施策⑥ 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり

生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されること、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されることを目指します。

未来を見据え
新たな活力を生み出します。

複雑に変化する社会の中で、新たな活力を生み出すためには、東広島市の都市特性を効果的に活用し、産学官民が一体となった積極的な取組みが必要です。学術研究機能をさらに発揮し、研究者や学生の活動の場としての役割を強化するとともに、内外から支持される中心市街地の魅力づくりを進めます。

また、新たな産業用地の確保や基幹的な交通ネットワークの強化を進め、環境と調和した先進的な実証実験型プロジェクトが生まれ展開するまちを目指します。



施策1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出

優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市を目指します。

施策2 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり

国内外から様々な人材が集まり、あらゆる場面で活躍すること、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、本市の活力づくりに寄与することを目指します。

施策3 都市成長基盤の強化・充実

東広島市の中心地は、人々が集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなり、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれることを目指します。さらに、産業用地が確保され、新たなビジネスが創出される基盤が整うことを目指します。

施策4 交通ネットワークの強化

交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されること、公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されることを目指します。

施策5 環境に配慮した社会システムの構築

次世代環境都市の構築が進展し、環境と調和した潤いのある地域が形成され、構築の過程で生み出されたシステムや成果が、市民の暮らしづくりに効果的に活用されることを目指します。

施策6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市

AI やビッグデータなど、最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」を目指す取組みが積極的に展開されることを目指します。

5. 安心づくり

自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

安全・安心な市民生活を送れるまちの実現を目指します。

近年の豪雨・地震災害等を踏まえ、災害に強い地域づくりや行政、関係機関、地域との連携による防災・減災対策を進め、犯罪や交通事故の未然防止、迅速な消防・救急・救助体制の確立を目指します。これにより、安全・安心な市民生活を支えるまちを実現します。

また、総合的な医療体制の確立と健康寿命の延伸を進め、生涯元気に暮らし続ける社会を実現します。

さらに、少子高齢化が進む中、医療・福祉・介護の担い手が連携し、誰もが支え合う環境を形成し、安心して子どもを産み育てられる環境を作り、誰もが幸せを実感できる住みたくなるまちを目指します。

施策① 災害に強い地域づくりの推進

行政、関係機関及び地域が連携した防災・減災対策により、市民等の生命、身体及び財産を災害から保護し、安全な生活が確保されることを目指します。

施策② 安全・安心な市民生活の実現

犯罪や交通事故の未然防止が図られ、迅速かつ的確に対応できる消防・救急・救助体制が確立されるなど、市民生活の安全・安心が確保されることを目指します。

施策③ 総合的な医療体制の確立

持続可能な救急医療体制、高度専門医療の機能が充実し、医療体制が確保されるなど、市民が安心して適正な医療を受けられるような医療サービスが充実することを目指します。

施策④ 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現

住み慣れた地域で、生涯健康で元気に暮らし続けることができるよう、健康の保持・増進が図られることを目指します。

施策⑤ 共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現

高齢者、障がい者、生活困窮にある方などの支援が充実するとともに、地域人材と専門職との連携・協働による支援の包括化が進み、共に支え合い、安心して暮らせる地域社会が形成されることを目指します。

施策⑥ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

地域共生社会の実現に向け、子育て家庭、地域、関係団体、行政等、地域の多様な担い手が一体となって支え合い、安心して子育てができる環境を目指します。

地域別計画

東広島市を構成する地域には多くの地域特性があり、従来から独自のまちづくりが展開されてきました。第五次東広島市総合計画後期基本計画の策定に当たり、引き続きその地域特性に注目し、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めていくために、市内の９つの地域ごとに目指す方向性を検討し、「地域別計画」として定めました。

あるべき地域の姿の実現を目指すためには、行政、市民、各種団体が意見を出し合って、その姿に近づく施策や取組みをともに進めていくことが必要であり、この地域別計画の策定を契機として、今後も引き続き、市民の皆様とともにあるべき地域の姿を追い求めます。

福富地域

自然と人が共生する
新たなライフスタイルに出会える交流のまち

【主要な施策】
- 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
- 未来を感じるプロジェクト挑戦都市　など

志和地域

田園環境との調和やインターチェンジ等のアクセス性・職住近接性を活かした
仕事とともに新たな交流が生まれるまち

【主要な施策】
- 安全で円滑な生活交通の充実
- 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり　など

八本松地域

先端産業と田園風景の調和や都市との近接性を活かした
良好な居住環境が整ったまち

【主要な施策】
- 企業の投資促進
- 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり　など

黒瀬地域

交通利便性や地域資源である大学の機能を活かした
健康・福祉と交流のまち

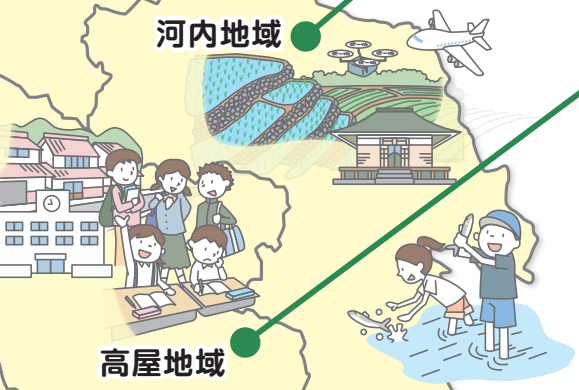
【主要な施策】
- 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
- 交通ネットワークの強化　など

豊かな自然の中で
ゆとりある暮らしが楽しめる体験・交流・定住のまち
【主要な施策】
●地域資源を活かした観光の振興
●市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり　など

豊栄地域

河内地域

豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした
ゆとりと活力のあるまち
【主要な施策】
●農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
●都市成長基盤の強化・充実　など



高屋地域

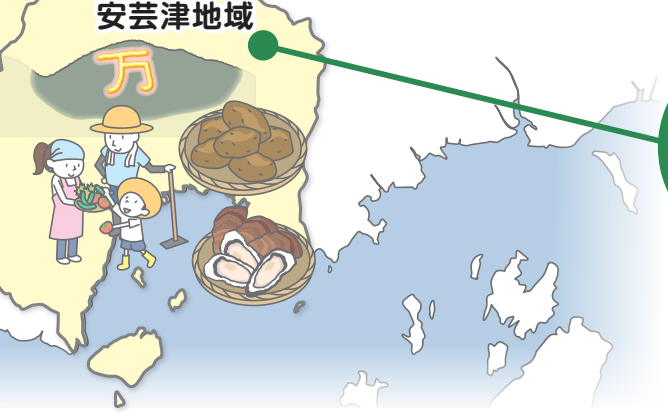
広域交通や様々な教育機関が整う
豊かな田園と良好な居住環境を備えたまち
【主要な施策】
●市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
●学術研究機能の発揮による都市活力の創出　など

西条地域

新たなテクノロジーによる次代の創造と
学術・研究・国際化を先導するまち
【主要な施策】
●学術研究機能の発揮による都市活力の創出
●環境に配慮した社会システムの構築　など

安芸津地域

瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を活かした
共に支え合う共生のまち
【主要な施策】
●災害に強い地域づくりの推進
●共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現　など



総合計画についてもっと詳しく知りたいと思ったら